

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野 敬之
幹事 堀田 一彦



第1652回例会

令和3年1月14日 (18:30～19:30)

○ソング

- 君が代 (国歌)
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長 (新年明けましておめでとうございます。新年からネガティブな情報が続きますが、自らの明るさをもって、廻りを明るく出来る様頑張っていくましよう。今年も宜敷くお願い致します。)
- 堀田一彦幹事 (明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。)
- 中目公英会員 (明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。明治神宮の初詣参詣者数が前年比八割減との報道の通り、小生のところも同様で、一年間慎んで暮らすことに致します。)
- 鈴木孝幸会員 (新年明けましておめでとうございます。吉野、堀田年度いよいよ折り返しですね。コロナに負けずあと半年がんばって下さい。)
- 佐藤清作会員 (新年おめでとうございます。今年もよろしく。コロナウイルス症の終息と平常の毎日が早期に戻ることを祈念いたします。今月は結婚記念日の月です。お祝いありがとうございます。)
- 金田昇会員 (新年あけましておめでとうございます。コロナに負けずに今年も楽しいロータリーライフを送りましよう。)
- 安部和夫会員 (新年明けましておめでとうございます。苦難の年皆で乗り越えましよう!)
- 富永章会員 (新年お目出とう御座居ます。本年も宜しく御願致します。)
- 前原俊治会員 (コロナに負けず今年も頑張りましよう。1月3日は結婚記念日でした。お祝いの花有難うございました。)
- 石部辰雄会員 (コロナの心配ない、良い年を願います。)
- 阿部克弘会員 (新年おめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。)
- 池田浩章会員 (新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。新型コロナに負けず、頑張りましよう。)
- 十文字光伸会員 (先日の父の葬儀に対し、皆様の心温まるお気遣いを頂き心より感謝申し上げます。今後も精進して参りますので御指導、御鞭撻の程、よろしく願ひ申し上げます。)
- 永野文雄会員 (新年おめでとうございます。コロナに負けな良い1年にましよう。)

▶第1652回例会出席状況 (R3年1月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	47名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	61名
Ⓒ ①の出席者数	22名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	55
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	60%



▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

イベントがどんどん中止となっております。先程、幹事のほうからお話がありましたが、わたくしが把握してるだけでも2月5日の白河3ロータリークラブでの合同新年会は中止となりました。2月6日の姉妹クラブの深谷ノースさんが主幹されてますIM、こちらのほうも一応延期というご連絡をいただいています。それと2月4日の、県南分区のIMに関しましては延期というお話を頂戴しております。そのように地区のほうを見ますと、確かに2月にもう一つ二つあったと思うんですけど、そちらも延期となったと聞いております。それらのものが中止であったり延期というふうになっていく、これ大体皆さんも想像つくと思うんですけども、現状が改善されなければやはりこれはこういった形で続いていくと思います。この際の判断基準もやはり感染リスクの high か low か今どうなんだということ一点に尽きるかと思うんですが、我がクラブも判断基準は同じもので考えております。それに準じて開催の可否を判断していくことになるわけですが、私が以前お伝えしたとおり中止の判断は直前でも、今回11日がそうだったように直前でもできると思うんですが、実施するという事はやはり準備をしていってないと直前で実施するという事は不可能でございます。ですので、やはり皆様方にはお力添えをいただいて実施に向けての準備は粛々と進めていただきたいというふうに思っております。今後予定されてるものとしましては、ランドセルを贈ろうという事業。それと延期されました清掃作業と講演会もまた日にちを改めて行いたいと思っております。それと35周年の式典、懇親会、記念ゴルフとなっているわけですが、すべてが事前に入念な準備をした上でないと行えないというふうな実施不可能なものばかりだと思っております。それ程準備を進めても、前回のように突然中止というふうにやむなしという判断になることもあるかと思うんですけども、是非それに向けて頑張っていくということは大切なかなと思っております。こちら今年度の重点目標の中に35周年を通してメンバーの結束を高めようというような項目を挙げさせていただいております。これはやはり協議をしたり皆さんといる所まで話し合いをしたり準備をする中で、当然あんまりよくないんでしょうけど、人間関係といいますか顔合わせをして密に人と人の人間関係が密になっていくということは、やはりクラブの結束力というものをさらに強くしていくと私は確信しております。そういうために、やはり35周年とかそういった何かの事業というものは役に立つんだろうなというふうに思っておりますし、逆にいえば実際にその事業が成功しようと失敗しようと言うと、ちょっと言いすぎかもしれませんが、本質的にそこが大切なわけではなくてやはりそこに向かって皆さん方が力を合わせて皆さん方との関係性を高めていく。多分、それができれば事業に関しては成功だと思っております。そういう思いを込めまして、今年度の重点目標の中にも35周年を通してメンバーの結束を高めようというような一文を挙げさせて

いただいたわけでございます。先程来お話ししてましたように、いつどこでどんなふうな形でクラスター、もしくは感染拡大が発生するかわかりませんので、それに合わせてやはり粛々と対応していくしかないというふうなのは実際のところではございますが、できればそんなふうにはならないであろうという思いのもとに、これは居川実行委員長のほうにはお願いしていることではございますが、35周年に関しましては取りあえず実施に向けてお力添えをしていただきたいというふうに考えておりますので、メンバーの皆様方にはまたまたお力添えをいただくご苦勞をおかけすることになるかと思いますが、実施に向けて協力をお願いしたいというふうに思うところでございます。本来ですと、まだまだ時間もありますしいっぱいお話ししたいこともあるので、私もあと20ページくらいあったんですが、取りあえず今日はやはり今の状況を鑑みまして例会も早めに終わらせて、理事会のほうもございましてその中でまた時間多分いっぱい必要かなと思っておりますので、会長の時間のほうは以上で終了させていただきたいと思っております。続きがお聞きになりたい方は、私のインスタグラムのほうで20ページ分載せておきますので、そちらのほうをご覧ください。というのは冗談でございますけれども、何しろこのような大変な時期、皆様方にも本当に身の危険もあつたり、さっきもちょっとお話ししたんですけどしきい値、歯医者に行った時に痛いと言ったらそれぐらいで痛いんですかと話をされたんですけど、人それぞれ違うらしいですね。そういうのを、しきい値というらしいんですよ。痛さのしきい値。だから、コロナに感染することに関する不安というものに対する不安感のしきい値というのもみんなそれぞれ違うと思うんです。個人個人の感覚もそうですし、企業であればそれぞれの企業の持つてる考えてるそのしきい値もそれぞれ違うと思っております。そんな中でやりくりをしてロータリー活動というものの中に皆さんのお力添えをいただけるというのは、本当にありがたいなというふうに心から思っている次第でございます。是非、皆様方の期待を裏切らないように皆様方がやっぱり今年一年終わってみて良かったなと言ってもらえるように、あんまり自信はないんですけど努力はいたしますので、今後ともよろしくお願ひいたしまして、会長の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

▼新春初打ちゴルフコンペ

1月5日(火) 袋田の滝カントリークラブ

優勝：成井正之
準優勝：堀田一彦
第3位：吉野敬之
第4位：前原俊治

第5位：運天直人
第6位：藤田和克
第7位：永野文雄

方なのかなというふうにも思いますけど、随分収まってきたようには感じております。全国各地から緊急事態宣言の要求が最近上がりはじめまして、昨日新たに7つの府県を合わせて発令されまして、全部で11都府県に緊急事態宣言が出されるという事態になりました。今後、さらに増加する可能性もあるのではないかなというふうなことです。ここ福島県でも不要不急の外出自粛、それと飲食店の夜8時以降の営業を自粛というようなお願いという形ですが出されておりました、これもほぼ福島県独自の緊急事態宣言に準じるようなものだなというふうに思っております。年末から本日までに約2週間ちょいでございますが、非常に環境がこのように激変しております。その間、わたくしが一番悩んだのはこの例会、もちろんイベントの開催の可否関しましては非常に悩んだわけですが、それ以外にはやはり例会に関してでございます。感染拡大のリスクが高いのであれば、やはり特段悩むことなく休会というふうにできると思うんですが、正直申しまして、今の状況はグレーゾーンではないかなというふうに思います。確かに、一部でクラスターは発生しているのですが、じゃあ一方市中感染というような観点で見た場合、さほどといえるほど僕も詳しくはないんですが、市中感染が広がってるというふうには思えないような状況なんじゃないかなというふうには思っております。一般的に飲食店に行ったりとか、そういう所で不特定多数の方が出入りする所でマスクを取ってということになると、もちろん感染リスクは高まると思うんですが、さほど普段の生活の中で感染リスクが高まっているというふうには思えない。グレーゾーンじゃないかなと思っております。それでなかなか判断が難しいなと思っております。それは今年度、重点活動目標に挙げさせていただきました、例会重点主義で会員資質を高めようということを目標に掲げさせていただいております。実は、わざわざ重点目標に挙げるまでもなく、これは地区のほうでもR Iでも同じようなことを仰ってますし、やはり週に一度、皆様方と顔を合わせていろいろなお話をしたり情報交換をしたりということは非常に大切なことですし、やはり例会はロータリーの活動の基本だなという思いがありまして、非常に大切ななというふうに思っておりますので、簡単に言えば例会はできればやりたいなという思いが先に立っているので、なかなか休会という判断は出しづらいというのが正直なところでございます。非常事態宣言に合わせて一定期間休会をすれば話は簡単なんですけども、基本的には何とかしてそういった理由で開催したいというふうな思いがあるために日々悩んでおります。今も悩んでおります。例会開催の判断基準としましては、もちろん当然ながら安全。感染リスクに関しての安全というほうがこれが第一優先になるかと思いますが、通常でしたら問題にならないようなことですが、現在では新型コロナ感染リスクというものの高さが開催基準になるのが必然だろうと思っております。今後も、その点を判断基準として会の決定をさせて

いただけなければいけないと思っているわけですが、それを踏まえた上で今後会場に集合した上で、こういう形での例会の休会というものをやはりある程度念頭に置いて準備をしておく必要なのかなというふうに思っております。その第一歩が、ズームによるリモート例会開催というものを検討しております、昨年皆様方にアンケート調査を実施したわけですが、実際これ開催に関しては皆様方の環境、わたくし共執行部のほうの環境を整える必要がありますので環境整備にしばらくお時間いただくような形になると思うんですが、一度環境が整ってしまえば非常に使い勝手もいいと思いますし、何よりもそういう形で例会を開催した場合には、感染リスクというものを完全に払拭した形で開催できるというメリットが得られるという点が一番良いことだと思っております。それに、今後このような形、国のほうでは2月7日までというふうに言っていますが、果たしてそれで収まるのかどうか、今後どうなるのかというのは私たちにも全然予測ができない。その場合、ずっと休会にしておくのかというふうに考えた時に、やはりズームでの例会開催というものを視野に入れておくべきではないかなと思いますし、ひいては先々まで周年に関わる事業という部分でも、もしかするとこういったものが活用が非常に有効になるやもしれないと思っております。先日、アンケートを行った際に37名の回答がありまして、21名がそういった形の開催を可とされておりました。11名の方が否とされていたわけですが、その他5名が、その他というふうな回答でしたが、多分この11名の方も、いやなんでかんで嫌だよという皆とどうしても顔を合わせなきゃ嫌だというようなことではないと思うんですが、本来の例会とは違った形で行うよりは、だったらそれ程まで無理しなくてもいいんじゃないかなというふうな、完全に否定ではないと思うんですが、一応そういうふうな結果が出ておりました。皆様のご意見を参考にしまして、今日理事会がこの後開催されますので、そこでどういう形がベストだろうかということを検討させていただきたいと思っております。その上で、意見が分かれてはおりますけれども結果が出て、どちらかもしくは休会といろいろ結果は分かれると思うんですが、それは理事の皆さんと検討した結果ということで、その際は是非皆様にもご理解をいただければ幸いですというふうに思っております。次に、今後の35周年の記念事業に関する考え方でございますが、35周年記念事業に関しましては居川孝男実行委員長を中心とする実行委員会におきまして検討していただくわけですが、一定の方向性、会長としてはこんな感じで考えてますということは、その部分についてのみお話をさせていただきたいと思っております。先程もお話をさせていただきましたように、1月11日に予定されてました事業は白河地方を中心として発生したクラスターにより延期をさせていただきました。延期の判断基準は参加者の安全が担保できないと考えたためでございますが、現在いろいろな会議や

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様改めまして、新年あけましておめでとうございます。松の内を過ぎましてもう一週間も経過してるわけですから、皆様方とお会いする初めての機会、例会ということでございますので、このようなご挨拶をさせていただきました。旧年中は大変お世話になりまして、誠にありがとうございました。本年は、さらにお世話になると思いますので、皆様も覚悟してよろしくお話ししたいというふうに思っております。本日はお忙しい中、またコロナ感染が拡大のリスクが増しているというふうに言われてる中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。食事の件を多少ご紹介させていただきます。今日はお弁当という形でさせていただきました。本来、今日の例会のほうも先週に引き続き休会しようかどうかというお話しもあったのですが、感染拡大が収まりつつあるのではないかとということで例会をやるかという話もあったりしまして、とりあえずお弁当で食事のリスクが減るような形にしようかということでお弁当とさせていただきました。例会中に食事をしていただいても結構でございますし、お持ち帰りになっていただいても結構でございますので、ご自分のほうで判断していただければというふうに思っております。皆様、既にご存知のように昨年暮れに発生いたしました白河地方中心としますクラスターで、約50名程の感染者を出すに至りました。それに伴いまして、先週の例会及び11日に予定されておりました清掃奉仕活動、及び中村文昭先生による講演会のほうは中止及び延期という形にさせていただきました。本来、クラスターが発生しなければ開催と考えていたんですが、発生してしまいましたのでこれはもうちょっと無理だろうということで延期というふうにさせていただきました。開催に向けて準備していただいた委員会のメンバーを中心とする皆様方には大変残念だなというふうには思ってるわけですが、今回参加予定だった方々に中止のご連絡をさせていただいたところ、非常に皆さん残念がっておられまして、また東ねていただいていた先生方も非常に良い企画であったのでまた機会があれば是非やっていただきたいというようなお言葉を頂戴いたしましたので、まだまだ今年度も6月いっぱいまで時間もありますし、是非また機会を見て再度チャレンジさせていただければというふうに思っている次第でございます。本日のプログラムは会長の時間ということになっておりますので、後程またその辺のことを含めて話をさせていただきたいというふうに思っております。最後となりますけれども、5日の日に当クラブの初打ちコンペを開催させていただきました。コンペを準備していただきましたゴルフ愛好会の皆様、大変ありがとうございました。

いました。このコンペのほうはゴルフ愛好会の正式なものではないので、愛好会の予算を使つての景品というものは用意しないというふうになっております。会長賞というものをご設けさせていただいてまして、会長のほうから何か商品をとということでしたので、今年はコロナ抗体検査キットを優勝賞品とさせていただきます。抗体検査キットは、優勝した堀田一彦君のところに二つ程ございます。また、販売先は成井パスト会長のところでも販売してるそうですので、もしそういう方いらっしゃらないと思いますけど、心当たりがあったり多少不安な方がいらっしゃったら、堀田会員、もしくは成井会員のほうにお話しただければ抗体検査キット手に入りますので、その節はお声がけてみてください。第一回例会ということで、今日は沢山の皆様と楽しい時間過ごせればと思っております。よろしくお願いいたします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 国際ロータリー第2530地区2020-2021年度 第4グループ ガバナー補佐 新島修一：第4グループIM開催中止について
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団室NEWS 2021年1月号
- 国際ロータリー日本事務局経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年RIレートのお知らせ
- 国際ロータリー日本事務局業務推進・IT室：2021年1月職業奉仕月間
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所：「職業奉仕セミナー」延期のお知らせ
- 財法)比国育英会バギオ基金 会長 多田宏：「バギオだより」配布のお願い
- 公益社団法人白河青年会議所 第63理事長 成井匠：公益社団法人白河青年会議所2021年度新年式典開催の御案内
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー石黒秀司、2020-21年度ガバナーエレクト事務所、(株)オクトン：年賀状
- 白河赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一：白河赤十字奉仕団令和3年新年会中止について (お知らせ)
- 福島民友、福島民報：広告掲載紙について
- 公財)ロータリー米山記念奨学会：2020-21年度下期普通寄付金のお祝い
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度 ガバナー 石黒秀司：2023-24年度ガバナー選出の件
- 2020-21年度ガバナー事務所：MY ROTARYのリニューアルに伴う修正中の問題について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、地区幹事 関根信：後期地区委員会開催、ZOOMでの開催のご案内
- 国際ロータリー財務部：国際ロータリー人頭分担金請求書 クラブ番号23677

■委員会報告

○会計

横田俊郎会員



新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。会計から会費の引き落としのご連絡をさせていただきます。1月25日に、会員様の口座のほうから会費を引かせていただきます。案内のほうは来週ファックスで送らせていただきますのでご確認の程をよろしくお願いいたします。

○親睦委員会

櫻岡敏之委員長

・誕生日

片倉義文会員、湊洋子会員

諸橋和典会員、須藤正樹会員

瀬谷隆志会員

・結婚記念日

仁平喜代治会員、佐藤清作会員、前原俊治会員



○雑誌広報委員会

村上堅二委員長



皆さん、明けましてありがとうございます。本年もまたよろしくお願いいたします。雑誌広報委員会「ロータリーの友」のほうの見どころをお話したいと思いますので、ご覧になっていただければと思います。まず、横組みの3ページ、ホルガー・クナーク会長の話ですけど、今非常にロータリーがこういったコロナで変わりつつあるという現状の中、行動変革を2年とか3年後にどういった行動をするのかを、きちんと構想を作って優先順位を絞り込んで作っていくことが必要であるというふうな話があります。是非、具体例もありますのでそういったものを参考にしてこれから今年というか5年10年後の行動計画を作っていた方がいいかなという話がありました。それと、横組みの20ページですね。東京ロータリークラブが創立100周年ということになりました。最初に出来たのが、1920年、大正9年10月20日ということで、盛大に創立100周年の式典を開催したということが載っておりますので、是非ご覧になっていただければと思います。大変有名な方も参加してるようで、盛大な会になったということ聞いております。それから、横組みの29ページにはアニメですね。漫画のところですけども、これが結構何か月か続いているんですけども、ロータリークラブの発足でその中で一つの大きく変わった事例が載っております。あくまでもロータリーって最初に設立当時は自分たちの身内が大切だという形の中で、どうして今こういった奉仕の形のものを作っているのか、そういった理想のもの、そういった機軸を作ってくれたのがこのアニメに載ってます。その中で、ドナルド・カーターという方がそういったお話をしておりますので、是非確認していただければと思います。それから横組みのほうです

けども、台北の世界大会のほうが6月12日から14日まであるということで、そのご案内が届いております。それと次は縦組みに行きます。今回は縦組みのほうが非常に中身が濃いので、是非皆さん読んでいただければと思います。縦組みの4ページ、「船橋屋」という会社の社長さんであります渡辺雅司様の今回のお話が載っております。これ東京の和菓子屋さんで今多分、従業員が300名、そして売り上げが17億というふうな会社なわけですけども、新入学生がそこにリクルートで上がってくるのが約1万7千人エントリーがあるということで、非常に学生から人気がある会社であるということで注目されております。その中で何が一番すごいかというと、この方はもともと銀行員だったわけですけども、それから実家の家業に入ったわけですけども、お菓子屋さんという形で非常に職人さんが多い中、こういった形で職人さんを企業にしていっていったのかということの工程が載っております。内容的には、職人さんがやっている形の仕事をきちんとマニュアル化したということが一つあったんですけども、そういった中で一番感じたのは二代目の社長さんだったので、多分縦組みの6ページの下の方にあるんですけども、コンサルタントに会社の伸びがなかなか出来なかったので頼んだ時に、コンサルタントの方から言われた言葉が「専務、あなたが社員をあいっだとか奴等とか言ってるうちは良い会社なんか作れません。」というふうにはっきり言われたそうです。私もちょっとこれ身に染みて感じたところがあるんですけども、やはり社員を大切にするとかそういった気持ちがないとやっぱり企業は発展できないのかなとしみじみと感じたわけです。是非ともこの辺の内容はじっくり読みこんでいただければ非常にためになるものかなと思いますので、よろしくお願い致します。そして縦組みの9ページ、室賀栄助さんという方ですね。この方もカンブリア宮殿でも随分評判になってる方ですけども、七味唐辛子を作ってる場所ですね。一つの企業としていろいろな発展性を見つけるためにいろんな方針を取ってあるという形で、どちらかというと新しいベンチャーに近いものがあるかと思っておりますけども、是非この辺も参考になるかと思っておりますのでお読みいただければと思います。17ページ、郡山の初瀬さんのほうの文章が出ております。職業奉仕や未来への挑戦という形で、ロータリーに入ってからいろいろな職業奉仕についてお話がありますので、是非お読みいただければと思います。簡単ではございますが以上になります。今年もまたよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

会長年頭卓話

○吉野敬之会長



それでは、会長年度卓話ということでございますので、少しお話をさせていただきたいと思います。皆様、お正月はどのようにお過ごしになりましたでしょうか。去年は、コロナコロナというふうなことで一年が過ぎ去った感がございますが、先程お話ししましたように白河でも今年度年初よりクラスターが発生し、またまたコロナの話題が中心となってしまっている今日この頃でございますが、私事ではございますが本意ながらも若干名の方々から今回のクラスターに関しまして、大変ご心配と疑惑の目を向けられておりまして、周りの方々にわたくしがどのような姿で映ってるのかが図らずもわかってしまうということになりまして、そんな認識を真っ向から否定できなかった自分が情けなく思ひまして、ちょっと悲しい新年の幕開けでございましたが。ただし、これだけは声を大にして皆さんに言わせていただきたいんですが、**わたくしは今回のクラスターには一切関わっておりません。**ここは是非週報に太字で、ぎっちり書いておいていただければというふうに思っております。コロナになりまして、非常にネガティブなイメージがやっぱりどうしても多いですね。白河のほうはクラスターのほうは随分収まってきたようには感じておりますが、やはり国のほうで非常事態宣言が発令されたり、感染者数が非常に増加したりというふうな情報を見ますと、やはりどうしてもネガティブになると思いますし、情報の捉え方に関しましても人それぞれ感じ方が違うな、危険度合いのしきい値というんですかね、そういったものが違うなと感じております。今日も本来、櫻岡君は会社のほうでやはりコロナに感染しないようにということで、従業員さん皆さんに不要不急の外出を控えてほしいというふうな依頼してるということで、なかなか今現状外に出てこういった会に出席するのは難しいというようなお話をされていましたが、その中でも今日は第一例会ということで誕生日等の発表しなくちゃいけないということでわざわざお越しいただいて、終わりましたので今お帰りになりました。村上さんも今日は、「ロータリーの友」についての解説があるので先程来ていただいたんですが、村上さんのところではやはり夜間の外出はいかんと、これは奥様からきつくお達しが出てくるということで申し訳ないけど帰るねということでわざわざ来ていただいたわけですが、そういったように、それぞれ皆さん環境がございまして、そういった中でももちろん優先順位があるわけですから、ロータリーが何番目になるかその時間帯によっても違うと思いますけども、その中で活動を続けていただいているということに対しては、非常に敬意を感じざるを得ないなというふうに思っております。本来、今日会長の時間ということででしたので、実は年末には対策

をご用意させていただいていたんですが、時間のほうもできれば今日はこの後理事会もありますし、短時間で済ませたほうが良いのではないかなというふうなお話もありましたし、本来であれば12月で任期の途中で半分を終えたということで、その活動の総括とR L Iというふうな話を皆さんお耳にすることあるかと思ひますが、何回もお話ししましたがR L Iで勉強してきたことを、また皆さんのほうにそういったことを伝えるような形で会長の時間というふうに思っていたんですが、先程言いましたように白河を含め日本全国がこのような状況になっておりますので、現在の現状認識、それと今後のロータリー活動に関しまして、わたくしどんなふうにいるか展望をお話するほうが今らしいかなと思ひまして、その点についてちょっと端折りがちになるかもしれませんがお話をさせていただきたいというふうに思っております。まずは現状でございまして、これに関しては皆様も興味深く関心高くご理解してと思ひますが、コロナ感染の一つの指標となっております東京の感染者数が12月31日に初めて1000人を超え、1331人というふうなカウントをいたしました。それと前後しまして、白河で先程来話題になっておりますクラスターが発生いたしまして、東京だけの感染者数であれば多少ながらですね、他山の石というふうな形で見方もできたかもしれませんが、年明け白河でこれだけの感染者数が急増いたしまして、1月5日には10名を超える感染者が発生するに至っては、11日に予定しておりました35周年の記念事業のほうはこれはもうやっぱり延期せざるを得ないだろうと。先程もお話ししました、それに合わせて先週の例会のほうも休会とさせていただきます。その頃、東京では感染者数が1500人を超えまして、1月7日、本来であれば先週例会をやる日には2447人と、現状では最大の感染者数を出すに至りまして、関東を中心としまして一都三県を対象にした緊急事態宣言が発令されるというふうになったわけでございます。一方、その頃白河地方では先週末から今週にかけては、コロナの発生件数が徐々に減ってきております。昨日あたりもゼロ、今日はちょっとわからないんですが、昨日おとといあたりから白河、西郷を中心とした発生件数が減っていて、昨日は80代の女性が一人ですかね。多分これはクラブには通ってらっしゃらない方だと思ひますので、別の所からだと思ひますが、二次的、三次的という可能性もあります。そういう

